



## ご挨拶



和歌山県立向陽中学校・高等学校長 吉松 敏隆



本校 Web ページにアクセスしていただき、有り難うございます。

本校は、旧制海草中学校からの伝統である、自彊不息、質実剛健、文武両道の校風を受け継ぎ、創立 93 年の歴史を有する緑豊かな学校です。卒業生は旧制中学以来 32,900 余名にのぼり、各界で活躍される多数の人材を輩出しています。

「向陽」の校名は、生徒の成長と学校の発展を願い、太陽に向かって大きく前進することを意味し、校章も、太陽に住む伝説

の黄金鳥を図案化したものです。この校名のように、本校は大きく飛躍、前進を続け、地域から期待され信頼される学校として発展し、中学生と高校生 1,200 名が日々勉学、部活動等に励んでいます。

平成 4 年に前期・後期の二期制を導入し、翌 5 年には全国で初めての「環境科学科」を設置、平成 7 年には 1 校時を 70 分とし、平成 8 年からは毎週定期的に英・数・国のテストを行う「週例テスト」の時間を設け、さらに、平成 15 年に「文化科学科」を設置、平成 16 年に併設型の中学校を開校するなど、「高い知性と豊かな人間性を有するスケールの大きな人材の育成」をめざして、中高一貫教育を核とした特色ある学校づくりを進めています。平成 18 年からは、文部科学省のSSH（スーパー・サイエンス・ハイスクール）指定を受け、環境科学科を中心にして、大学や研究機関と連携した、より高度な科学研究、科学技術に関する学習にも取り組んでいます。また、平成 19 年からは、放課後補習の見直しと学習習慣の定着、学習環境の整備等をねらいとして、PTAと連携した「土曜講座」を実施しています。

「豊かな知力」、「逞しい気力」、「強い体力」を確実に身に付けるとともに、正門のモニュメント「希望」のように力強く躍動し、前庭で天空に向かって真っ直ぐに伸びる 3 本のワシントンヤシの大樹のように、創造的、主体的、市民的で自由闊達な人間を育成し、将来は日本のみならず世界でも大いに活躍し貢献できるよう、さらに充実した教育を展開していきたいと考えています。

今後とも、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。